

《担当者名》○宮本 雅央 m-miyamoto@hoku-iryo-u.ac.jp 志水 幸 福岡 麻紀 橋本 菊次郎 向谷地 生良 片山 寛信

【概要】

この講義では、「社会福祉領域における研究とは何か」について理解を深めると同時に自立的な研究方法の修得をめざす。

【学修目標】

具体的な学習目標は、以下のとおりである。

- ① 科学性を担保する基準について理解する。
- ② 必要な情報の収集・整理および分類方法について理解・修得する。
- ③ 仮説や問いの立て方および論証の仕方について理解・修得する。
- ④ 論理の展開や資料・事例の取り扱い方、文章表現や論文の体裁について理解・修得する。
- ⑤ 研究上の倫理的諸課題について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	①オリエンテーション ②論文作成の方法	①授業計画の概要を理解する。 ②論文作成の方法について、本学の諸規定をもとに理解する。	宮本
2	研究情報論	文献検索の方法を理解する。	片山
3	研究方法論Ⅰ	文献研究の方法を理解する。	志水
4	研究方法論Ⅱ	量的研究の種類、方法、留意点を理解する。	宮本
5	研究方法論Ⅲ	質的研究法を理解する。	福岡
6	研究方法論Ⅳ	事例研究法を理解する。	橋本
7	研究方法論Ⅴ	当事者研究法を理解する。	向谷地
8	①研究倫理 ②講義のまとめ	①研究倫理指針の枠組みを理解する。 ②講義の要点を整理できる。	宮本

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

各教員が課すレポートの総合点により100%評価する。

【教科書】

特に指定しない。講義の際に、必要な資料を適宜配布する。

【参考書】

岩田正美・小林良二・中谷陽明・稲葉英明著：社会福祉研究法－現実世界に迫る14レッスン（有斐閣アルマAdvanced）．有斐閣，2006年

岩崎晋也 他編：社会福祉研究のフロンティア．有斐閣，2014年．

日本ソーシャルワーク学会監修：ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック－実践と研究をむすびつけるプロセスと方法．中央法規，2019年

【学修の準備】

この授業では、これまでの学習成果を統合し、そこから生じた問題意識を明確化した上で参加することが求められる。自らの問題意識に沿った学習を深め、臨床福祉専門演習Ⅰと関連づけながら具体的な研究方法を選択すること。

※研究の計画や実施方法について、これまで履修した講義等を参考に事前学習すること。（予習2時間）

※講義で提示する課題に関して、自らが実施することを想定した研究法について事後学習すること。（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している